

# パールサーモRシリーズ

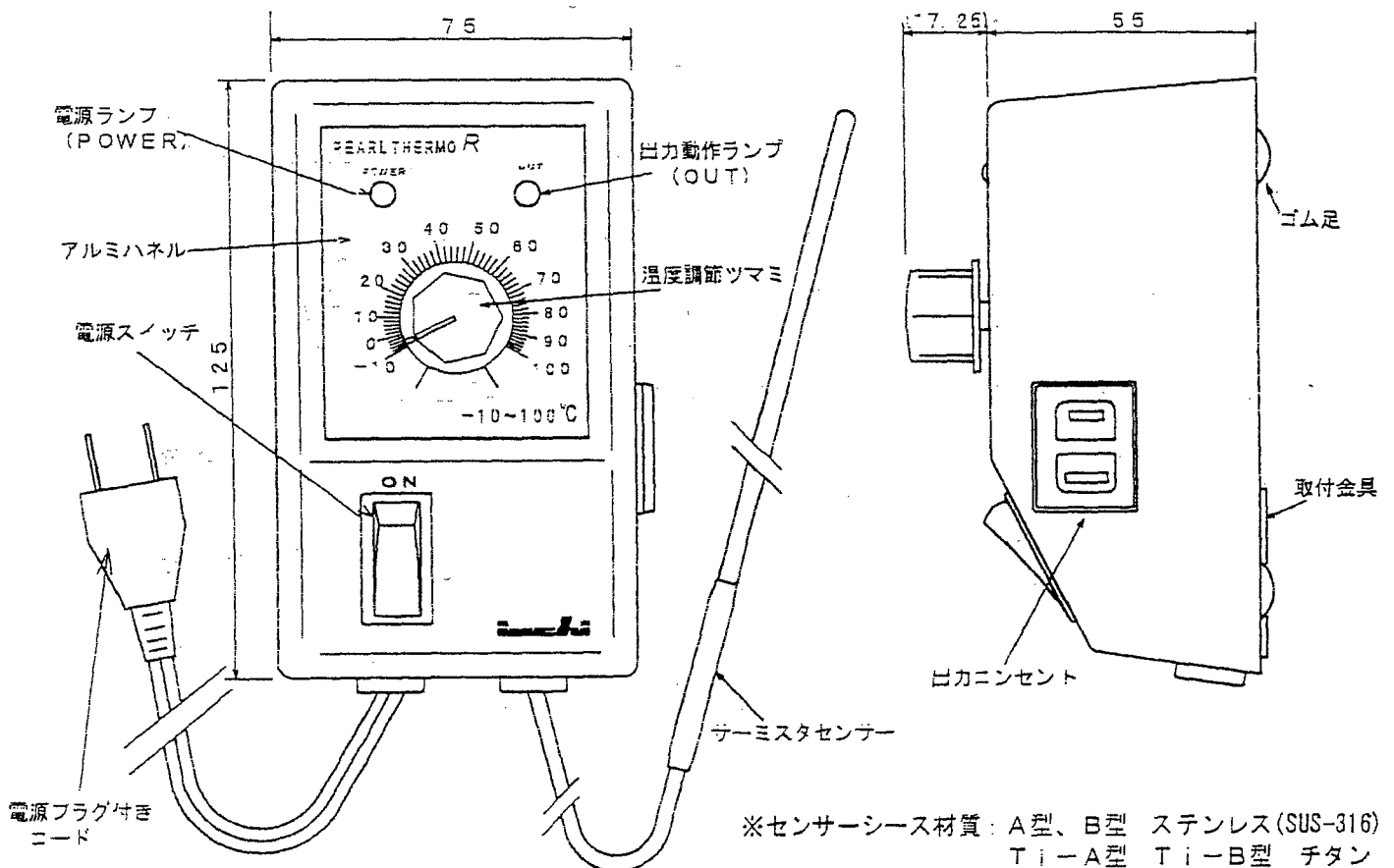
A型 1-4114-01      T i - A型 1-4114-03  
B型 1-4114-02      T i - B型 1-4114-04

## 取扱説明書

### ■はじめに

このたびは、パールサーモRをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この製品は、出力コンセントにヒーター等（抵抗負荷）の電源プラグを接続し、その温度をセンサー（サーミスタ素子）で測り、設定した値に制御する温度調節器です。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。またお読みになった後は、大切に保管して下さい。

### ■外形寸法及び各部の名称



※上図はA型、T i - A型です。B型、T i - B型はアルミパネルの目盛りが変わります。

## ■ ご使用の前に

- 商品がお手元に届きましたら、ご希望の型式であるかご確認下さい。
- 付属品は、この取扱説明書のみです。取り付け金具は、本体底面についています。

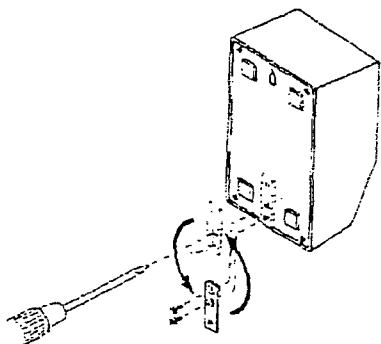
## 設置場所について

- 粉塵の多いところや、腐食性ガスの発生するところでのご使用は避けて下さい。
- 衝撃や振動の多い場所は、避けて下さい。
- ノイズの発生する機器（コンプレッサーなど）の近くでのご使用は避けて下さい。

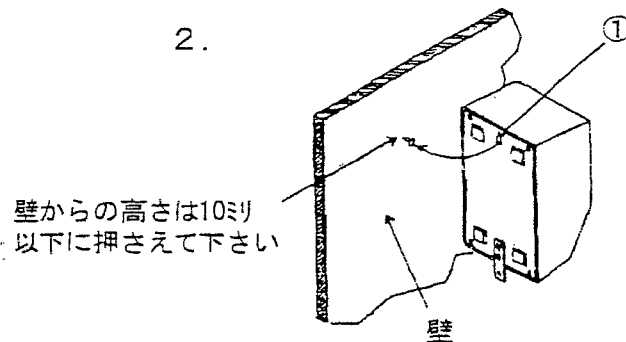
## 取付について

- 卓上でのご使用については、落下させたり、ぶら下げたりしないよう注意して下さい。
  - 壁掛けでのご使用については、下図のようにして下さい。
1. 本体底面についている金具のネジ2カ所をドライバーではずし、金具を180度回して、再度ネジを固定して下さい。
  2. 壁にネジ（釘など）を取り付け、①を引っかけて、下側の金具をネジで確実に固定して下さい。

1.



2.



## ■ 操作方法

電源スイッチがOFFで、かつ電源プラグがコンセントからはずれていることを確認して下さい。

- ①センサーを温度調節対象物の温度を検出できるように確実に取り付けます。
- ②加熱器の電源プラグを、この温度調節器の右側についている出力コンセントに確実に差し込みます。
- ③電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。（電源ランプが点灯します）。
- ④ご希望の温度設定値にツマミをあわせませます。（合わせた後はぶつかった拍子にツマミの位置が変わらないように注意して下さい。）
- ⑤設定温度に達すると動作ランプ（OUT）が消えて電圧の供給が止まります。設定温度より検出温度が下がると再度電圧が供給されランプが点灯します。

※センサーが腐食される恐れがある条件でのご使用の際には、別売のセンサー保護チューブAを被せてご使用下さい。（但し、この場合の最高使用可能温度は200℃までとなりますのでご注意ください）

## ■安全上の注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやこの製品をお使いになる方々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読み下さい。またお読みになった後は、**いつでも見られる所**に保存し、お使いになっている製品を譲渡または貸与されるときには、新しい使用者が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体と共に必ずお渡し下さい。

※この調節器は室内用ですので、室内以外では使用しないでください。また加熱器（抵抗負荷）の制御以外の目的では使用しないで下さい。

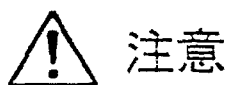


以下の項目を無視して誤った取扱をすると**火災・故障・感電**の原因となり、場合によっては**死亡や重傷**を負う可能性があります。

- 電源電圧AC100V以外では使用しないで下さい。
- この温度調節器の消費電流は、接続するヒーターにもよりますが最大で12Aです。単独のコンセントでご使用下さい。  
また突入電流のあるヒーターをご使用の場合は、その電流値が12Aを超えないものをお使い下さい。
- 電源コードを加工したり、無理に変形させたり、重い物をのせたりしないで下さい。
- この温度調節器に水をかけたり、ぬらさないでください。
- 揮発性、引火性のある物の近くでは使用しないでください。
- この温度調節器を分解したり、修理、改造はしないでください。
- 異音や変な臭い、煙がでているなどの異常がある場合には、直ちに電源スイッチを切り、本体から出ている電源プラグをコンセントから抜いて、異音、臭い、煙がなくなるのを確認して、「販売店」へ修理を依頼してください。
- この温度調節器を落下させたり、本体を破損させた場合には、直ちに電源スイッチを切り、本体から出ている電源プラグをコンセントから抜き出力端子に接続されている機器を抜いて、「販売店」へ連絡してください。

### お客様による修理は危険ですから絶対におやめ下さい

- 0℃から+50℃の範囲以外の周囲温度、85%を超えた湿度での環境、氷結結露する所、直射日光が当たる所でのご使用、保存はしないでください。
- センサーは制御させたい対象物に確実に取り付けて下さい。センサーが対象物からはずれていると思わぬ温度上昇により火災の恐れがあります。
- 加熱器と本体の間に交流変圧器などを接続してヒーター容量を調節しないで下さい。本体内部のリレーが溶着し、思わぬ温度上昇で火災や損害の原因になります。



- ご使用にならないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

## ■保守・点検

故障かなと思ったときは、もう一度、取扱説明書をよくお読みの上、下記の項目を確認して下さい。

○電源が入らない時（POWERランプが点灯しない）

・電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認して下さい。

○出力コンセントから電圧が出力しない時（OUTランプが点灯しない）

・設定温度より制御対象物の温度が高くないか確認して下さい。

（設定温度近辺まで下がれば制御を始めます。）

○出力コンセントから電圧が出力され続けているとき（OUTランプが点灯している）

・設定温度より制御対象物の温度が低くないか確認して下さい。

（加熱器の故障が考えられるので加熱器の点検を行って下さい。）

○出力コンセントから電圧が出力され続けている時（OUTランプが消灯している）

・本体内部のリレーが溶着している恐れがあります。

直ちに電源をOFFにして電源プラグを抜いて、温度が下がってから販売店に連絡して下さい。

以上の点検を行っても正常に機能しない場合は、本器の不良が考えられるので、お買い求めいただいた販売店にご相談下さい。

## ■仕様定格

温度範囲	A. <u>Ti-A</u> : $-10 \sim 100^{\circ}\text{C}$	B. <u>Ti-B</u> : $50 \sim 200^{\circ}\text{C}$
設定精度	フルスケールの $\pm 2\%$ 以内 (本体精度)	
調節感度	A. <u>Ti-A</u> : 約 $0.5^{\circ}\text{C}$	B. <u>Ti-B</u> : 約 $1^{\circ}\text{C}$
制御方式	ON/OFF動作	
出力容量	リレー接点による電圧出力 AC100V 12A MAX (抵抗負荷)	
入力方法	2Pプラグ付き電源コード 2m	
出力方法	本体右側面 2Pコンセントから負荷に供給	
電源電圧	AC100V $\pm 10\%$ 50/60Hz 共用	
センサー	サーミスタ素子 A. <u>Ti-A</u> : Aタイプ ( $100^{\circ}\text{C}/338\Omega$ ) B. <u>Ti-B</u> : Bタイプ ( $100^{\circ}\text{C}/2.475\Omega$ )	
保護回路	バーンアウト回路付 (センサー切断時、出力リレーを駆動させない回路)	
仕様環境	$0 \sim 50^{\circ}\text{C}$ 35~85%Rh (但し結露なきこと)	

商品に関するお問い合わせは

**アズワン株式会社**  
カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875

FAX 0120-700-763

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分  
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません

第二版作成 平成13年3月